



信望愛 それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大なるものは愛である。 コリントの信徒への手紙 I 13:13

基本理念
神と人とに仕えるキリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とする
●アメニティ(快適主義) ●ヒューマニティ(人間主義) ●ローカリティ(地域主義)



新たな時代の 新たな福祉のカタチ

2006年度に評議員に就任し、2018年度からは理事に就任させていただいております大継と申します。普段は事業団傘下のめぐみ保育園(大分市)の園長と、日本キリスト教団大分東教会の牧師を務めさせていただいています。

「施設」というと、職員が利用者に日常生活の世話をやって上げている、上から下への施しのイメージがあるかもしれませんが、どこか関係が対等ではないのです。しかし、評議員に就任して以来、いずみの園で一貫して感じることとは職員の方々の利用者と共に生きる姿勢です。特に施設の清潔さと積極的な挨拶は特筆に値すると思います。ともすれば自分の方から挨拶できない人が多い昨今にあつて、いずみの園の職員の方々の挨拶や施設の清潔さには、園の品質方針である「アメニティ」の姿勢が良く現れていると思います。

新約聖書のルカによる福音書19章に徴税人ザアカイの物語があります。徴税人ザアカイはローマ帝国から徴税の仕事を受け負っていました。税金の上前を撥ねるために厳しく取り立てを行い、納税義務者である周囲の人たちから嫌われていました。イエス様は、ザアカイの住む町を通り掛かった際、木に登って自分を見ていたザアカイに「ザアカイ、急いで降りて来なさい。」と声をかけられました。イエス様は下から上に声をかけられたのです。また、イエス様は食事の席で弟子たちの足をお洗いにし、彼らに向かって「わたしはあなたがたの中で、いわば給仕をする者である。」と言われました。本来高いところにおられるイエス様は私たちと共に生きるために低くなつてくださったのです。

イエス・キリストの御名によって建てられた施設は、その主イエスのお姿を日々追い続けながら進んで行かなければならないと思います。いずみの園が、高齢者・障がい者と共に生きる施設として、これからも中津とその周辺地域の方々と共に生き生きと前進することができるよう祈つてやみません。



社会福祉法人九州キリスト教
社会福祉事業団 理事
めぐみ保育園園長
おおつぐ たくろう
大継 徹朗

2019年度理事会・評議員会報告

2019年度第1回理事会が5月29日(水) 14:00よりミーティングルームで理事9名、監事2名の出席で行われました。理事長の挨拶、開会祈禱の後、第1号議案「2018年度事業報告(案)に関する件」(理事長・各保育園長) 第2号議案「2018年度決算報告(案)及び監事監査結果に関する件」(法人本部事務局長・監事) 第3号議案「各規程の改正に関する件」(法人本部事務局長) 第4号議案「次期役員候補者(案)及び新評議員候補の推薦に関する件」(理事長) 第5号議案「2019年度定時評議員会開催日程及び議案に関する件」の5議案が上程され、いずれも全会一致で承認されました。最後に閉会祈禱がなされ、15:00閉会しました。



第1回理事会の様子



定時評議員会の様子

また今年度の定時評議員会が6月15日(土) 14:00から「いずみ館」で行われました。議長選出の後、審議議案として第1号「2018年度の事業報告に関する件」と第2号「2018年度決算及び監査報告の承認」並びに第3号「次期役員候補者(案)の可決」以上の3点について審議が行われ、いずれも全会一致で承認、可決されました。

続いて同日15:00からいずみの園のミーティングルームに会場を移し、本年度第2回の理事会を、先の評議員会で可決された新役員出席のもと開催しました。理事会では1号議案「理事長選定に関する件」が諮られ、全会一致で可決されました。(新たに理事、評議員になられた方は下記の写真の通りです)

(法人本部事務局)



多田 満 理事



矢野悦子 理事



川島直道 評議員



可児勝代 評議員

韓国 スンシルサイバー大学の皆さんが、いずみの園に来園されました。



7月10日(水)から12日(金)にかけて、韓国ソウルにある「スンシルサイバー大学」の趙文基教授と学生の皆さんが、いずみの園に来園されました。

10日はいずみの園到着後ミーティングルームにて顔合わせを行った後、富永理事長による講話や施設見学を行いました。11日は施設見学や中津の観光、また日本と韓国それぞれの介護保険制度等に関する学習会を実施、そして12日に帰国の途につかれました。

いずみの園では10年来、韓国との交流を積極的に行っています。現在韓国の2つの大学及び1つの施設と協定関係を結び、人材の積極的な交流を行っています。今後も相互の交流を図れるよう取り組んでいきたいと考えています。

(経営企画課)



理事長による講話

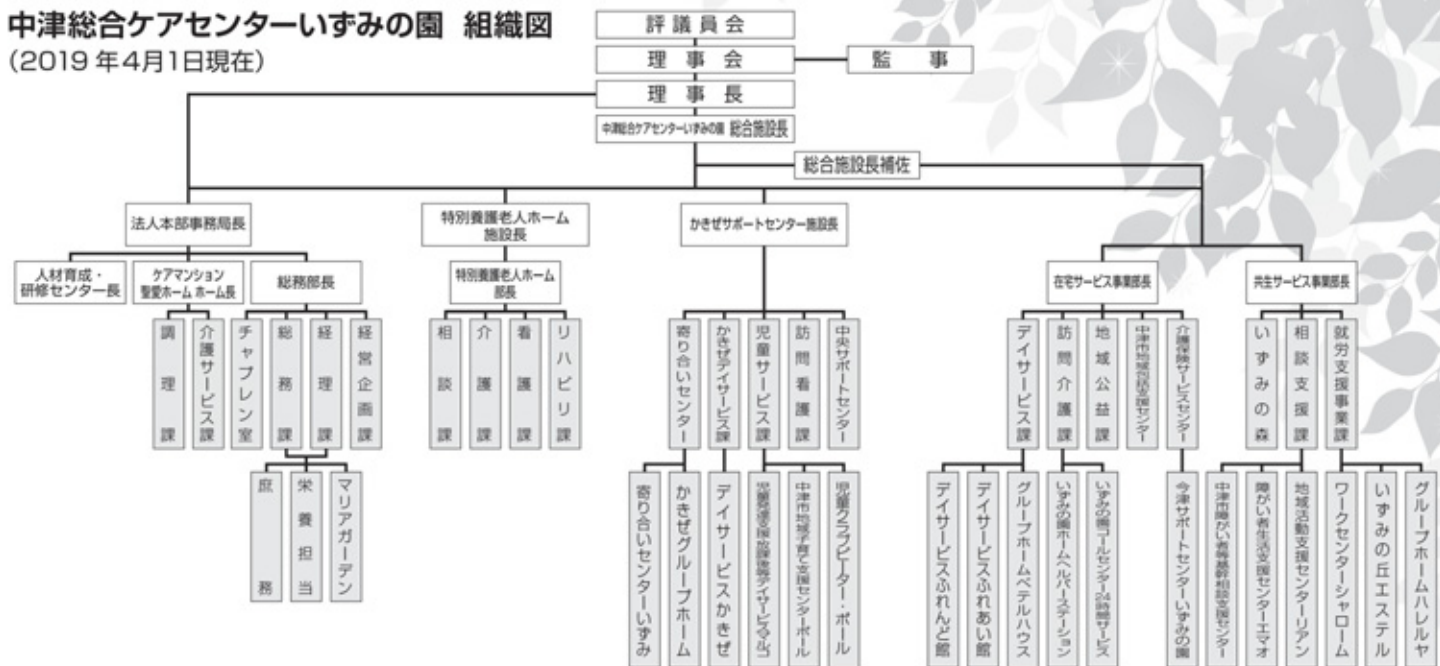


中津市内のレストランにて食事



見学中の様子

中津総合ケアセンターいずみの園 組織図
(2019年4月1日現在)



2019年度「総合ケアセンター いずみの園」事業計画重点事項 *2019年事業計画書より抜粋

総務部	かきぜサポートセンター	訪問介護課
総務課 <ul style="list-style-type: none"> ①業務の改善、効率化 ②職員資質向上 ③本館建築準備委員会の事務局として委員会開催 	寄り合いセンター <ul style="list-style-type: none"> ①専門性のある人材の育成 ②登録者及び適正利益の確保 ③地域との交流機会の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ①安定した収入確保 ②人材確保 ③人材育成
経理課 <ul style="list-style-type: none"> ①事務の省力化 ②事務のスピード意識の向上 ③予算執行のフィードバック 	いずみ・小規模多機能介護 <ul style="list-style-type: none"> ①福祉のまちづくり構想実現に向けた取り組み ②インターネットの活用、ICT化に向けた取り組み ③人材確保や育成、働きやすい環境づくりに向けた取り組み ④海外との人材交流に向けた取り組み ⑤広報活動、対外活動による「いずみの園」ブランドのアピールに向けた取り組み 	地域公益課 <ul style="list-style-type: none"> ①CSWの役割や取り組みの周知 ②就労準備支援 対象者の就労 ③新たな社会資源の開発・システムづくり
栄養担当 <ul style="list-style-type: none"> ①安全でおいしい食事の提供 ②栄養ケア・マネジメントの実施 ③利用者ニーズの把握 	かきぜグループホーム <ul style="list-style-type: none"> ①稼働率の維持と適正利益の確保 ②求められる技術や知識の獲得 ③地域行事への参加や地域住民との交流 	地域包括支援センター <ul style="list-style-type: none"> ①包括別地域ケア会議での検討プラン数/76件 ②認知症多職種共同研修の参加人数/180人 ③医療介護連携事例検討会議/年3回
マリアガーデン <ul style="list-style-type: none"> ①職員研修の実施 ②園外保育の実施 ③育児相談と子育ての情報提供 	デイサービス課 <ul style="list-style-type: none"> ①安定した稼働・適正利益の確保 ②福祉のまちづくりを目指して ③専門性のある人材育成 	介護保険サービスセンター <ul style="list-style-type: none"> ①医療介護、多職種連携研修への参加 ②ケアマネジメント勉強会参加 ③包括的総合的相談支援案件数/6件
経営企画課 <ul style="list-style-type: none"> ①「福祉のまちづくり構想」実現に向けた取り組み ②インターネットの活用、ICT化に向けた取り組み ③人材確保や育成、働きやすい環境づくりに向けた取り組み ④海外との人材交流に向けた取り組み ⑤広報活動、対外活動による「いずみの園」ブランドのアピールに向けた取り組み 	児童サービス課 <ul style="list-style-type: none"> ①保護者との連携 ②放課後児童クラブや支援センターや障がいのない子どもとの活動 ③障がいへの理解と専門性の向上 	介護支援センター <ul style="list-style-type: none"> ①医療介護、多職種連携研修への参加 ②入退院時の医療との連携強化 ③今津校区の福祉団体との会議の参加
チャプレン室 <ul style="list-style-type: none"> ①創立の精神を学び業務に生かす ②心と体と魂が豊かになるように 	子育て支援センター <ul style="list-style-type: none"> ①新たな子育て親子の支援と広報 ②出張ひろばの開催 ③相談・支援者の為の専門性と質の向上 	共生サービス事業部
人材育成・研修センター <ul style="list-style-type: none"> ①実務研修受講者確保 ②初任者研修受講者確保 ③福祉講座参加者確保 	児童クラブ <ul style="list-style-type: none"> ①共生型空間を活かした健全育成 ②保護者との連携 ③サービスの質の向上 	いずみの森 <ul style="list-style-type: none"> ①地域との交流 ②入居者の満足度の向上 ③施設周知のアピール
ケアマンション 聖愛ホーム <ul style="list-style-type: none"> ①入居者の安心・安全を支える支援体制の強化と人材育成 ②ご利用者・家族の満足度向上への取り組み ③地域交流の促進 	訪問看護課 <ul style="list-style-type: none"> ①医療依存度の高い方の迅速な受け入れと様々なニーズへの対応 ②サービスの質の向上(人材の育成) ③収入の安定化を図る 	中津川が瀬 相談支援センター <ul style="list-style-type: none"> ①共生社会の実現 ②地域の相談支援体制の強化の取り組み ③障がい者芸術文化の普及啓発
特別養護老人ホーム	中央サポートセンター <ul style="list-style-type: none"> ①安定した稼働・収入 ②在宅生活維持へのサポート ③介護度の改善 	障がい者生活支援センターエマオ <ul style="list-style-type: none"> ①新規利用者の確保 ②相談支援の質の向上・人材育成
相談課 <ul style="list-style-type: none"> ①家族との関わりを密にした見取り介護の充実 ②福祉専門職としての資質向上 ③特養本館建築に向けた研究 	在宅サービス事業部	中津川地域活動センターリアン <ul style="list-style-type: none"> ①余暇行事の企画・運営 ②多世代間交流の場の提供 ③普及啓発の実施
介護課 <ul style="list-style-type: none"> ①資格取得による介護負担軽減 ②ケアの質の向上 ③看取りケアの教育・展開 	ふれんど館 <ul style="list-style-type: none"> ①収入確保 ②職員の言葉遣いの改善 ③職員の体調改善 	就労支援事業課 <ul style="list-style-type: none"> ①就労継続支援A型・B型作業の作業開発 ②B型・生活介護利用者の出勤率向上(利用者増) ③共同受注窓口の効果的活用と果の入札(大分県物品等電子入札)に参加
看護課 <ul style="list-style-type: none"> ①専門性(看取りケア等)の向上 ②介護員へ「適切な医療的ケア」の指導 ③働きがいのある職場づくり 	ふれあい館 <ul style="list-style-type: none"> ①年間売り上げ目標33,000,000円の達成 ②学習療法をベースとした活動のアピール ③学習療法の効果検証 	いずみの丘 グループホーム ハレルヤ <ul style="list-style-type: none"> ①入居者の確保 ②余暇支援の充実 ③業務改善
リハビリ課 <ul style="list-style-type: none"> ①栄養サポート委員会(NST)の活動強化 ②職員業務負担軽減の取り組み ③地域、在宅への専門職派遣 	ペテルハウス <ul style="list-style-type: none"> ①平均稼働率97%の維持 ②認知症への理解(専門知識)、技術の向上内部研修 ③地域との関わり(外部交流) 	

人事関係

2019年4月1日以降

① 新規採用職員

4月17日付	田淵 章子	介護課	介護員
4月21日付	菅沼 紀子	介護課	介護員
4月22日付	奥村 香織	訪問介護課	ヘルパー
5月1日付	二ノ谷雅美	介護課	介護員
6月1日付	新庄 千春	認知症支援	介護支援専門員
	中森 康代	マリアガーデン	保育士
7月1日付	野畑 公代	総務	販売員 えがおや
7月17日付	乙津 晴彦	聖愛ホーム	運転手

② 異動職員

5月1日付	中尾 利恵	中央サポートセンター	介護員
	北古賀美香	ペテルハウス	介護員
	高藤 直樹	ふれんど館	介護員
6月1日付	高藤 直樹	ふれあい館	生活相談員兼介護員
	中原 幸子	かきぜグループホーム	介護員
	小久保裕也	ペテルハウス	介護員
	赤 美保	介護課	介護員
	小屋野重代	ふれあい館	介護員
7月1日付	今藤 健	相談課 相談員・介護課	介護員 兼務

(以上2019年8月1日まで)

「福祉の里センターサマリア館」 共生社会の実現に向けた取り組み報告

「かきぜ de キッチン」 「かきぜ de 地域の輪」

を開催しました

7月20日(土)に、中津市蛸瀬にある「福祉の里センターサマリア館」にて、第1回「かきぜ de キッチン」が開催されました。「かきぜ de キッチン」とはいわゆる「子ども食堂」のことで、こちらのイベントは子どもに限らず地域の方ならどなたでも参加することが可能です。当日は子どもから大人まで、合わせて28名の方にお越しいただきました。

また7月28日(日)には、同じくサマリア館にて「かきぜ de 地域の輪」というイベントが開催されました。親子で参加出来るワークショップや美味しいフードコーナーなど、イベント盛りだくさんで、200名を超える方にお越しいただきました。
当日の様子を写真と共に振り返りたいと思います。





「包括的相談支援」に関する取り組みについて



在宅サービス事業部
部長 伊藤 保幸

2019年度より「包括的相談支援会議」が発足し、「中津総合ケアセンターいずみの園」内でのソーシャルワーク機能を持つ相談支援事業所の代表の方々にお集まりいただき、重層的な課題を持つケースへの対応とそのシステム作りを行っています。

現在複数の課題を持つ世帯のケースを受け持つ場合、状況に応じて高齢、障がい、子ども、生活困窮などの複合的課題を持った世帯の支援において、ケースカンファレンス等を通じて、すでに各課やセンター同士が協力し取り組んでいます。

そのような現状の中、国からも共生社会の実現が打ち出されており、いずみの園内の相談援助の現場において複数の課題を抱えておられる世帯の問題を連携、協力しています。包括的に対応していくことの強化やシステム化を図り専門外の制度の理解を深めるためには、ほかの事業所がどのような仕事をし今後どのような連携が図れるのかを知る必要があります。今回は第1回の集まりで、会議の中で多分野の仕事

について知る事から始めようということに勉強会を実施いたしました。

6月17日(月)は、高齢者分野と障がい者分野で連携協働した事例を紹介していただき、社会資源の共有や連携のポイントなどを聞き、学習を行いました。



研修中の様子

いずみの園「働き方改革」に関する取り組みについて



法人本部事務局長
総務部 部長 堂本 高雄

「中津総合ケアセンターいずみの園」は今年で設立から41年目を迎え、現在360名以上の職員が在籍しています。昨今の働き方改革に関する一連の動きを受け、いずみの園でも職員の働く環境の改善に取り組んでいます。

まず2017年から職員対象に「働きがいアンケート」を行いました。現在の職場環境、待遇、働きがい等に関する20項目の設問に回答してもらい課ごとに集計、100点満点で表したものを課長以上の職員で共有し、各課の問題点、改善方法等について議論を行いました。同アンケートは2018年にも実施し、2019年にも同様に実施する予定で、年単位での点数の増減を比較することで、これまでの取り組みに対する効果の検証、また今後の取り組みの指針策定に活用できると考えています。

また「働き方改革関連法案」に関する取り組みとして、今年度は「年次有給休暇の取得」についてはフレの年ではあるが、当園は月ごと取得が進んでいない職員に対して直接声掛けを実施し、年休取得率の向上に努めています。「時間外労働」に関しても、時間外労働が発生した理由を明確化し、不必要な時間外労働を行わないよう声掛けをするなどの取り組みを行っています。加えて事業所ごとに「ノー残業デー」を設定し、その日は残業することなく退勤できるよう促しています。

最後に、「昭和」の時代「24時間戦えますか」などのCMのフレーズがありました。令和の時代は「働き方・働きがい」を自分たちでどうするかではないでしょうか。職員一丸となって、「一生懸命仕事する人、一生懸命遊ぶ人の育成」のために業務プログラムなどの見直し、魅力ある職場づくりを積極的に努めています。10年後20年後のいずみの園が、福祉人材より選ばれる施設であり続けられるように、職場の環境改善には今後も継続的に取り組んでいく考えです。



介護のすばらしさを届けたい 福祉映画会開催について



人材育成・研修センター
センター長 岩崎 深雪

8月3日(土)に、いずみの園の「地域交流ホール いずみ館」にて、「ケアニン」あなたでよかつた」というタイトルの映画を上映しました。当日は13時から上映で、30名の高校生を含む100名以上の方に「来場いただきました」。

映画は介護施設に就職したての新米介護福祉士が、ご利用者と接していく中で成長し、一人前の介護福祉士、通称「ケアニン」になっていく過程を、時にユーモラスに、温かなタッチで描いたとても素敵な作品でした。映画会に参加された方からは「介護の仕事を知ることができ、ありがとうございました」「介護員さんのやさしさに思わず涙がこぼれました」と感想をいただきました。

当日は大変な猛暑に見舞われた中津市でしたが、多くの方に「来場いただきました」ことを心より感謝申し上げます。いずみの園ではこのような映画の上映会を定期的開催しておりますので、皆様のご来場をお待ちしております。



映画会の様子

職員さんに聞いてみよう!

理学療法士

ちゃんに聞いてみた!!



特養事業部リハビリ課
課長 高倉 哲也

第巻話

「ノーリフティングについて」

昨今、介護・医療分野においてノーリフトやノーリフティングという言葉を目にする機会が増えてきていますが、皆様の印象としてはいかがでしょうか?

本テーマに関して、今号より数回に分けてお伝えする予定としています。今回は初回ということもあるので、知らない人にも知っていただくと思い「How to ノーリフティング」という内容で進めさせていただきます。初めに、本テーマを進めるにあたって、間違っって伝わってしまいがちな大事なポイントについて、まず理解していただきます。

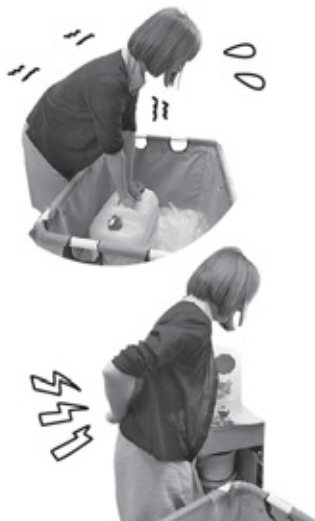
それは「ノーリフト＝福祉用具ケア」。これは不正解ではないものの不十分です。正解は「ノーリフト＝腰痛予防対策」です。これが今回の大事なポイントです。

ノーリフトという概念が生まれたのは、日本から遥か南の国オーストラリアです。1998年、介護・医療従事者の腰痛予防のための規定が設けられ、①危険や苦痛を伴う人力のみでのケアを禁止、②利用者の自立を考慮した福祉用具活用の義務付けがなされ、それらが

「ノーリフティングポリシー」として提唱されました。オーストラリアでは腰痛予防対策が根付いた確固たる基盤の上で、職員・利用者に安心・安全なサービス提供が行われていました。

一方、日本においては2013年に既存の腰痛予防指針が19年ぶりに改定され、その中で「人力での抱え上げは原則行わせない」と明記されています。この新たな指針にある「原則行わせない」という言葉が意味するものは、職場における腰痛予防対策の管理体制の整備が求められています。

日本で定められている腰痛予防指針の対象としては、第一次産業(運輸等)・第二次産業(小売業等)と特別養護老人ホームが属する第三次産業すべての業種を対象として作られています。そしてすでに、第一・第二次産業ともに本指針を基盤とした業務整備・改善に取り組みれた成果として、腰痛発症件数が年々改善傾向にあるとの統計が出されています。では、福祉施設はどうなのか? 悲しいかな年々右肩上がりに腰痛発症件数が増えていってしまっているというのが現状です。ノーリフトに取り組みればそれだけ効果があがることは、他の産業の結果からも分かるように、我々福祉施設もいち早く取り組まなければなりません。



今回は、「不良姿勢と良姿勢」など具体的な腰痛予防対策についてお伝えいたします。

#いずみの園photo

いずみの園では遅ればせながら2019年に「Facebook」「Instagram」の運用を開始しました。このコーナーでは、実際に掲載した写真を紹介していきます。



「商工会議所一斉清掃」参加者の集合写真。これがFacebook第1号の投稿でした。



サマリア館のアイドルの皆様。来られる方の癒しになっています。



こちらは特養のアイドルの皆様。職員の力作です。



“インスタ映え”を精一杯意識したいずみの園の外観。慣れないなりに頑張りました。



「かきぞdeキッチン」試食会にて。ちょっぴり辛めの大人のカレーでした。

FacebookやInstagramの「いいね」「フォロー」お待ちしております! スマートフォンの方は右記のQRコードから読み込ませてください!



Facebook



Instagram



介護男子

vol.6

ここでは、いずみの園で働く男性職員を紹介します。彼らの働きぶりを通して、いずみの園の内側を少しでも知っていたければ幸いです。



はし うち やす し
橋内 尉至さん

部署名：在宅サービス事業部
デイサービスセンターふれあい館 介護員
年齢：24歳
好きな食べ物：からあげ、ラーメン

介護男子
ナンバー 15



ひとこと

まだまだ慣れないですが、少しでも業務に慣れてご利用者に寄り添う介護員になっていきたいと思っています。

介護男子
ナンバー 16

みなみ しん ごと
南 真吾さん

部署名：在宅サービス事業部
訪問介護課 面接相談員
年齢：33歳
好きな食べ物：嫁の手料理



ひとこと

24時間 365日何かあっても駆けつける夜間対応型訪問介護、定期巡回随時対応型訪問介護看護をよろしくお願いします。



うめ ちと しん いち
梅本 俊一さん

部署名：在宅サービス事業部
今津サポートセンターいずみの園 介護支援専門員
年齢：46歳
好きな食べ物：オムライス、団子汁

介護男子
ナンバー 17



ひとこと

地域に根差した信頼されるケアマネ目指して、頑張ります！



編集後記

お体、ご自愛ください。
令和最初の夏もとても暑かったですね。特にこのシーズンよく耳にしますし、口にするものもある「ご自愛ください」という言葉。私はタイトルの通り頭に「お体」とつけていましたが、どうやらそれは間違いとのこと。「ご自愛」の中に、「体を大切に」という意味が含まれており、つまりタイトルの誤用を例えるならば「頭痛が痛い」と同じようなミスであるらしいです。
いずみの園は41年目の今年も「かきせ de キッチン」「かきせ de 地域の輪」という新しい2つの取り組みを開始しました。そのいずれもたくさんの方に足を運んでいただき、いずみの園の働きをまた一つ地域に発信することができました。関わっていただいた全ての方に、この場を借りて改めて感謝申し上げますと共に、季節の変わり目ですので、皆様どうぞご自愛くださいませ。
(義)

「善をなそうと思おう自分には、いつも悪が付きまどって居るという法則に気づきます。：私はなんと惨めな人間なのでしょう。：誰が私を救ってくれるでしょうか」
新約聖書ローマ書7章
学生時代施設でワークキャンプをしました。その時ともに参加した仲間とのミーティングの時、「自分たちはワークキャンプをしているけれど、良いことをしているぞという自己満足に過ぎないのではないか」ということが議論されました。今では若き日の懐かしい思い出です。
どのような善きわざや信仰心も、深いところでその人の自己満足的な欲求を満たしているカラクリが存在する、ということ。パウロという人はこのような人間存在を見つめました。そしてイエス亡き後、イエスという人の語りかけを聴いて救われました。パウロを英語で言うとポールとなります。

サマリア館ポール

いずみの園の
ルーツを探る
— 第6回 —



チャブレン 堤 健生

「特別養護老人ホームいずみの園」で「夏祭り」を開催しました。

8月2日(金)、「特別養護老人ホームいずみの園」で「夏祭り」を開催しました。場所は旧ふれんど館にて、特養のご利用者やご家族、デイサービスのご利用者、者やマリಾಗーデンの園児等、合わせて約140名の方が来場されました。

会場内では射的やヨーヨー釣り、輪投げ、バルーンアート等で祭りを堪能していただき、

たこ焼きやかき氷といったお祭りの定番メニューを召し上がっていただきまし

た。ご家族と一緒に撮った写真を会場内にてプレゼントしました。ご

利用者が「買った景品をなくさないようにしなくちゃ」と満面の笑みで話をする姿が印象的でした。短い時間ではありましたが、ご利用者やご家族の方々に楽しんでいただき、たくさんの笑顔と感謝の言葉をいただきました。また楽しい企画を準備する励みになりました。参加してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

(特別養護老人ホームいずみの園)



ヨーヨー釣りブルの前で



会場全体の様子

永眠者追悼記念礼拝が行われました。

8月9日(金)10:30より「いずみの園」のご利用者で、この1年間にお亡くなりになられた22名の方の「永眠者追悼記念礼拝」が「地域交流ホームいずみ館」においてキリスト教式で行われました。

追悼記念礼拝には、ご家族の方、特別養護老人ホーム・

聖愛ホームのご利用者、職員の方など

約50名の方が参加されました。司式は

当園の堤チャブレンが行いました。司

式者によるヨハネ福音書6章の1〜13

節の朗読、また「有り難し」と題しての説教、参加者全員による

祈禱、讃美歌を合唱し、故人を偲びました。

最後に当法人理事長から、1年間に亡くなられた故人を偲

んでの挨拶があり、追悼礼拝を終了しました。

(中津総合ケアセンターいずみの園)



祭壇の写真



礼拝中の様子

上ノ原地区・いずみの園 合同盆踊り大会が行われました。

8月16日(金)に、毎年恒例の上ノ原地区との合同慰霊盆踊りが行われました。直前まで天候が不安視されましたが、当日は晴れ、無事に屋外で開催することができました。ハッピー姿のご利用者、浴衣姿の職員や地域の方々も少ずつ集まり、真ん中の太鼓を中心に盆踊りの輪をつくりました。実際に会場にいられたご利用者の中には「中津音頭や炭釜節を聞くと思いがけず」と嬉しそうに話をされる方もいらつしました。おなじみの曲を太鼓の音に合わせて踊られた後にはこちらも毎年恒例の抽選会が行われ、とても賑やかな一夜となりました。

今年も上ノ原地区の方々と協同のもと合同慰霊盆踊りを開催する事が出来た事に感謝致します。また来年も、皆さんと一緒にやるこの様な行事を楽しみにしたいと思います。

(特別養護老人ホームいずみの園)



会場の様子

第21回 いずみの園フェスタ開催

予告

イベント 盛沢山

日時 10月26日(土) 午前10時~午後2時

会場 いずみの園 中津市永添2744

ステージ

- 屋台コーナー
- わんぱくコーナー
- もちつきコーナー
- 小笠原古流茶会(茶席体験)他
- バザーコーナー
- 健康・介護保険コーナー
- 顔写真入りカレンダー作成

- 中津支援学校音楽部
- ハルフラYU
- 藤間重利社中 他
- よさこいソーラン
- 琉球國祭り太鼓

※イベント・ステージは変更になる場合があります。